

海外で活躍

沖繩アーティスト

彼らは実際に海外でライブを行い高く評価されました。要チェックです!



KACHIMBA4

サルサと民謡をミックスさせるなど、沖繩ならではのラテン音楽を生み出すバンド。本場のキューバでも活躍。



THE SAKISHIMA meeting

石垣島出身の新良幸人と宮古島出身の下地イサムによるユニット。民謡をベースにジャンルを超えた音楽を追求。



マルチーズロック

1997年に結成されたロックバンド。パンクやブルース、ジプシー音楽などを取り入れ、独自の世界を表現している。



- 1 各国の音楽関係者によるカンファレンスの様子
- 2 海外の音楽見本市では沖繩のアーティストを紹介
- 3 交流することで新しいアイデアが生まれている



Q3 沖繩とアジアの音楽ネットワークが 出来始めているよ

ここ数年、音楽を通じて沖繩とアジアの交流が盛んになっています。その中核となっているイベントが、2015年より毎年開催されている「Trans Asia Music Meeting」です。これは、桜坂劇場を運営する株式会社ワランクが、県と公益財団法人沖繩県文化振興会の支援を受けて始めた、沖繩と近隣アジア諸国との文化交流ネットワーク構築を目指す事業の一環です。

「Trans Asia Music Meeting」では、アジア各国から音楽関係

者を招いて課題や展望などを公開で話し合うカンファレンスを行うほか、県内や海外のアーティストのショーケースライブや、音楽関係者の交流会も開催しています。これらによって、個別ではなかなか売り込むのが難しかった海外の音楽フェスティバルなどのイベントに、沖繩のアーティストが招待される機会が増えてきています。

また、音楽レーベル「Music from Okinawa」も生まれ、沖繩の才能あるアーティストを国内外に紹介するためのCDも制作されています。多角的に沖繩音楽を発信するこの動きに、期待が寄せられています。県では、沖繩の音楽産業の振興を沖繩21世紀ビジョンに位置づけ、今後も沖繩文化を軸とした海外との交流、魅力の発信を推進していきます。

Q3



沖繩の音楽は 世界とつながる?



Q1 沖繩音楽のルーツはどこ?

沖繩音楽というと、民謡などで聞かれる独特の音階を思い浮かべる人が多いことでしょう。日本でこの音階を使うのは沖繩だけですが、海外に目を向けると、インドネシアや中国などアジアの様々な国で似たような音階が使われています。ただ、どこから伝わったのか、それとも自然に生まれたのかは未だに謎で、多くの学者がいろんな説を唱えています。また、三線や三板といった楽器の多くは琉球王国時代の交易でもたらされたものが多く、やはり中国からの影響は大きいといえるでしょう。

一方、戦後の米軍統治下時代には、欧米のポピュラー音楽が盛んに聞かれるようになり、ロックやポップス、そして民謡にまで影響を与えていきます。まさに、沖繩音楽はチャンプルーされて発展していったのです。

A 中国の影響は 大きいけれど、 実はいろんな説があるんだよ



米軍からの影響でロックが発展



OKINAWAN ROCK

1960年代半ばより、在留米兵受けするロックバンドが続々と登場しました。とくに、「紫」や「コンディション・グリーン」といったハードロック・バンドは、沖繩だけでなく本土進出も成功。音楽ファンの間では今も「沖繩=ロック」という図式が浸透しています。

沖繩音楽特有の琉球音階は、ド・ミ・ファ・ソ・シの5音で構成されています。インドネシアのガムラン音楽や、中国南部やポリネシア、ヒマラヤ方面の民謡にも似た音階が存在するようです。近年はロックやポップスで使われることも一般的になりました。

琉球音階は 中国や インドネシアとも 共通する



ド・ミ・ファ・ソ・シの 5音から成る

中国の三弦は 全長が長い

沖繩の三線は コンパクト



沖繩音楽の象徴である三線は、中国福建省で生まれた弦楽器の三弦が原型です。形はほぼ同じですが、三弦の方が棹は長いのが特徴。また、三線の楽譜「工工四(くんくんしー)」も三弦で使う記譜法「工六四(くるるんしー)」を参考にしたようです。

沖繩が世界に誇る 音楽を聴こう!



「Music from Okinawa 2018」

上で紹介した3組をはじめ、16組のアーティストによる楽曲を収録。ロック、ポップス、ジャズ、ヒップホップ、民謡と、ジャンルもバラエティに富んでいる。現在進行形の沖繩音楽がいかに豊潤なのが伝わる内容。



「BLOOD LINE」

喜納昌吉&チャンプルーズ
「花〜すべての人の心に花を〜」のオリジナルが聴ける名盤。この曲は世界60カ国以上で歌われている。
写真提供: 日音



「ケアラオカマイレ」

ケアライ・レイシエル
ハワイを代表する歌手が「涙そうそう」を現地語でカバー。まるでオリジナルのように聴こえるのが不思議。
写真提供: ビクターエンタテインメント



「島唄」

THE BOOM
オリジナルだけでなく、ウチナーグチバージョンやアルフレード・カセーロの歌も収められた企画盤。
写真提供: ソニーミュージックダイレクト

Q2

海外で知られている 沖繩の歌は?

A みんなが知っているあの曲は海外でも大ヒットしたんだよ。



THE BOOMの宮沢和史とアルフレード・カセーロ

海外との交流が深まれば、新しい沖繩音楽が生まれるはず

独自に発展した沖繩の音楽。そのルーツや海外とのつながりについて学んでみましょう。

沖繩と世界は音楽でつながっている